

**製品名:** アリールスルファターゼ I ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab07187

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	64kDa

## 抗原情報

遺伝子名	ARSI
別名	ARSI; Arylsulfatase I; ASI
遺伝子 ID	340075.0
SwissProt ID	Q5FYB1
免疫原	抗血清はヒト ARSI 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 311-360

## 背景

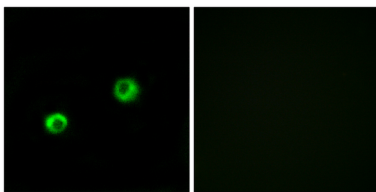
この遺伝子は、硫酸エステルおよびスルファミン酸を加水分解するスルファターゼの大規模なファミリーに属するタンパク質をコードします。このファミリーのメンバーは、ホルモン合成、発達における細胞シグナル伝達、高分子の分解など、いくつかの細胞プロ

セスにおいて役割を果たします。この遺伝子によってコードされるタンパク質は分泌され、細胞外空間で機能すると考えられています。[RefSeq 提供、2016年7月],補因子: サブユニットあたり1個のカルシウムイオンを結合します。PTM: 原核生物ではセリンまたはシステイン残基、真核生物ではシステイン残基から3-オキソアラニン (C-ホルミルグリシン、FGlyとも呼ばれる) への変換は、触媒活性にとって重要です。類似性: スルファターゼファミリーに属します。,

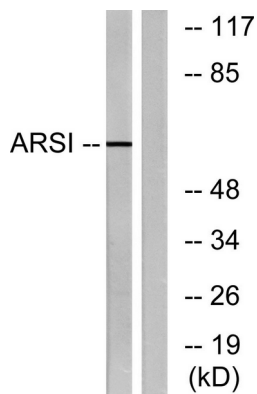
## 研究分野

-

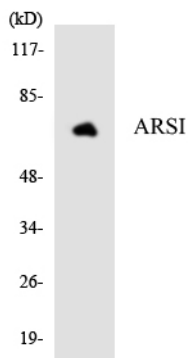
## 画像データ



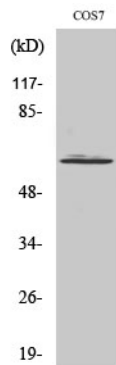
ARSI抗体を用いたMCF7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



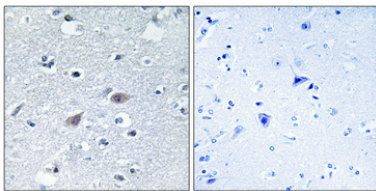
ARSI抗体を用いたCOS7細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ARSI抗体を使用したHepG2細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



アリールスルファターゼIポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。